

第 39 回神奈川県小中学校将棋大会 開催要項

- ※ 対局数を 4 局（午前 3 局 午後 1 局）とし途中に昼食休憩を入れます。昼食持参とします。
- ※ チーム編成が規定通りに行われていない申込書は受付できません。申込者が不備の有無を点検し、不備を申込期間内に訂正されない場合は失格となります。正確に記入した上で申し込みしてください。
- ※ 申込書送信後は必ず受付事務局からの「申込書受信しましたメール」が届いているかを確認してください。
- ※ 当日、午前 6 時の時点で以下の 5 種類の警報が 1 つでも横浜市に発表継続中の場合、大会を中止します。
ア. 暴風警報 イ. 大雪警報 ウ. 暴風雪警報 エ. 特別警報(大雨、暴風、高潮、波浪、暴風雪、大雪)
オ. 降灰予報
- ※ 試合の組み合わせ、座席表等は、大会のおおむね一週間前にホームページに掲載しますので、事前に選手と一緒に確認をお願いいたします。

- 1 日 時 令和 6 年（2024 年）12 月 26 日（木）9:20～15:00(予定)
- 2 会 場 横浜市技能文化会館 2・6・8F
045-681-6551 (JR「関内」駅南口 歩 5 分) (市営地下鉄線「伊勢佐木長者町」出口② 歩 3 分)
- 3 主 催 神奈川県小中学校将棋連盟
- 4 後 援 神奈川県教育委員会・横浜市教育委員会・日本将棋連盟神奈川県支部連合会・東京アマチュア将棋連盟・NPO 法人「将棋を世界に広める会」ISPS・神奈川県教育会館・神奈川新聞社・横浜市青少年育成センター
- 5 内 容 **団体戦** ； 1 チーム 3 名による小学校・中学校合同の学校対抗団体戦
※小学校・中学校全体で対戦チームを編成するので、同一リーグで小学校のチームと中学校のチームが対戦することがある。
- 6 出 場 規 定
 - i 神奈川県内の小中学校に所属する児童生徒であり、各学校毎にチームを組むこと。
 - ii チーム編成は 3 名を基本とするが、2 名編成や補欠を含めた 4 名編成も可とする。
各学校のチーム数の上限は設けない。(ただし、出場チーム多数の場合、制限すること有り。)
同じ学校であるのなら、部活動・クラブ活動以外のグループでも出場できる。
 - iii チーム名は所属する学校名とし、複数出場の場合は学校名の後に、段級点合計の高い順に A・B・C・・・と順番に付記する。登録されたメンバー・オーダーは変更できない。
 - iv 出場校は、必ず学校に担当教職員 1 名以上を置く。また、当日は 1 名以上の引率者（保護者可）がつかなければならない。
 - v 参加選手は各自一組の将棋盤と駒を持参する。対局時計も可能ならば持参する。
- 7 参 加 費 1 チーム 1200 円 大会当日納入。
- 8 申し込み方法 「神奈川県小中学校将棋連盟」ホームページより「39 回大会申込書」をダウンロードして申し込む。必ず今大会の申込書・アドレスをご利用ください。
※申し込み先アドレスは shida08@outlook.com です。
- 9 申し込み期間 **11 月 9 日（土）受付開始 ～ 11 月 15 日（金）18:00 必着**
- 10 審判長・役員 審判長 日本将棋連盟 上野裕和 六段 運営委員長 関田 隆 他

- 11 大会棋戦 大会参加申込書に記載された段級点の合計点と学年平均の点とを勘案して順序を決め、8チームごとに各リーグを構成する。
(段級位を段級点に変換する表は、文書末の図を参照)

12 大会時程

9:20 ~ 9:30	受付 選手はトイレ等を済ませ着席待機
9:40 ~ 10:10	開会式・諸注意
10:20 ~ 14:05	試合(4試合) 途中で昼食休憩
14:05 ~	片付け・閉会式・表彰

- 13 表彰 各リーグ3位まで賞状を授与。

14 運営

(1) 「参加チーム決定方法」(出場チームを制限する場合) ※文書末の図を参照

- ① 各校の第1順位のチーム(Aチーム)を入れていく。
- ② 参加枠に余裕がある場合、次に各校の第2順位のチーム(Bチーム)を入れていく。これを繰り返す。(C、D、…)
- ③ ある順位のところで全校のチームが入りきれない場合は、次の優先順位でチームを入れていく。
優先順位1 参加チームが多い学校のチーム。
優先順位2 学年点の高いチーム。
- ④ ③の方法で決まらない場合は、役員会で抽選により決定する。

- (2) チーム編成 3名の対局により行う。複数チーム参加校は段級点の高い選手から順にチームを編成し、各チームのオーダーも段級点の高い順とする。登録されたオーダーで対局するが、補欠によるメンバー入れ替えは可。ただしメンバーを入れ替えた場合でも、必ず、1番手から段級点の高い者順に並ぶこと。

- (3) 試合 1リーグ(8チーム)を4チームずつ2つに分ける。
- ① それぞれ総当たりのリーグ戦(3試合)をおこない、1~4位を決める。
 - ② 各同順位同士で順位決定戦(1試合)をおこない、リーグ全体の1位~8位を決める。

(4) 1試合ごとのチームの勝敗決定方法(団体戦1試合の勝敗の決定)

- ① 勝者の数が多い方を勝ちとする(3勝0敗や2勝1敗などの場合。まれに1勝0敗など)
- ② 勝者数が同数の場合(欠席や千日手などで1勝1敗や1勝1敗1引き分けなど)では主将(1番手)が勝者のチームを勝ちとする。主将(1番手)が引き分けの場合は副将(2番手)が勝者のチームを勝ちとする。
- ③ これによっても決まらない場合は、リーグ戦では引き分けとする。引き分けの場合、チームは0.5勝とする。順位決定戦(引き分けが不可の場合)は抽選で勝者を決定する。

(5) リーグ戦の順位決定方法(リーグ戦3試合の合計による順位の決定)

- ① チームの勝ち数の多い方を上位とする。(チームの引き分けを0.5勝として加える)
- ② チームの勝ち数が同数の場合は、個人の勝ち数の合計が多い方を上位とする。
(個人の引き分けを0.5勝として加える)

これによっても決まらない場合は、以下の方法で順位を決める。

- ③ 1番手の勝ち数
- ④ 2番手の勝ち数
- ⑤ 直接対決の結果
- ⑥ 抽選

- (6) 持ち時間 **1人10分の持ち時間**とし、使い切ったら1手30秒未満の秒読みとする。
全体の進行上、持ち時間を変更することも有り得る。
なお、対局時計の準備状況によっては、時計を使わずに行う試合もある。

(7) 対局とルール

- ① 対局は総平手とする。
- ② オーダーは最上位者を主将(1番手)とし、その後は段級点の順序とする。
- ③ 両チームの対戦の先後は主将(1番手)の振り駒による。2番手以降は先後を交互にする
- ④ 相手のチームが遅れた場合、審判員立会いの下、主将が振り駒をし、相手方のチェスクロックを作動させる。開始後時間が切れた場合、失格とする。引率者が遅れた場合、引率者が到着するまで試合に参加することはできない。
- ⑤ チェスクロックは、後手番の好きな方に置き、必ず指した手で押す。
- ⑥ 持ち駒は盤の右側に置く。対局時計でかくれることが無いように互いの持ち駒が見える位置に置く。駒箱を駒台として使わない。
- ⑦ 同一局面が4回生じた場合千日手とする。**千日手の場合は引き分け**とする。
- ⑧ 相入玉になった場合、持将棋の判定をする。
 - ・まず双方の玉以外の駒を点数化し合計する(小駒(飛・角以外)を1点、大駒(飛・角)を5点とする)。
 - ・その合計点が多い方を勝ちとする。同点の場合は後手の勝ちとする。
- ⑨ ⑧を含め、ある対局が試合終了まで大幅に時間がかかると予想される場合は審判が裁定する。(例)勝敗の判定、数手後に判定すると予告して対局継続、秒読み時間を減らし20秒未満とするなど
- ⑩ どちらかの投了で勝敗を決定する。投了は「負けました」とはっきりと相手に分かる言葉と態度で意思表示をする。
- ⑪ **次の行為は反則負けとする。**
 - ・二歩 ・打歩詰め ・王手放置 ・二手指し(手が離れば指したことになる) ・成れない駒がなる
 - ・駒が動けない所に動く ・動けない駒を打つ(歩・香の一段目など) ・連続王手の千日手対局相手の反則を発見した場合は次のようにする。
 - ・対局時計の「中断」を押して時計を止める。
 - ・対局相手の反則を指摘する。相手が認めれば相手の投了で終了となる。
 - ・対局相手が反則を認めない場合、手を挙げて審判の判断を求める。ただし、**投了後の反則の指摘は無効とする(投了優先という)。**
- ⑫ **他者の助言を禁止する。**また、対局者が助言を求める行為も禁止する。対局者以外の者の指摘、例えば、「時計の押し忘れの指摘」や「二歩等の指摘」、「目による合図」「うなずき」等も助言に当たる。なお、助言が生じた場合は、助言者との関係がより強い選手の方を負けとする。
- ⑬ 対局中、何か問題が起こった場合(駒が落ちて行方不明になった。急な腹痛など)は、対局者は審判の判断を求める。この場合も必ず時計の「中断」を押した後、手を挙げること。
- ⑭ その他、運営上生じる問題は、日本将棋連盟の規約に準じ運営本部が裁定する。指示に従うこと。

(8) その他

- ① 大会への参加やチーム編成などでご質問やご相談がありましたら、当連盟にご連絡ください。
- ② 遅刻・欠場者が生じた場合、必ず当日の受付と会場内の参加リーグ本部で申し出る。
- ③ 出場申し込みが受理された時点で、参加が決定される。以後、辞退が生じた場合でも、参加費の納入は義務付けられる。
- ④ 当連盟及び新聞社が記録のため撮影することがあります。不都合な場合はご連絡ください。
- ⑤ 緊急の対策等が必要になった場合に備え、申込書に必ず緊急連絡先(携帯電話)を記入してください。

「参加チーム決定方法」(出場チームを制限する場合)

例: 申し込み10校48チームから、40チームが出場すると仮定した場合。

はぶ中学校	いなば中学校	ひろせ中学校	さとう中学校	くぼ中学校	とよしま中学校	ふかうら中学校	みうら中学校	いとだに中学校	あくつ中学校
A 1	A 2	A 3	A 4	A 5	A 6	A 7	A 8	A 9	A 10
B 11	B 12		B 13	B 14	B 15	B 16	B 17		B 18
C 19			C 20	C 21	C 22	C 23	C 24		C 25
D 26			D 27	D 28	D 29	D 30			D 31
E 32			E 33	E 34	E 35	E 36			E 37
F(学年点8)			F(学年点8) 40	F 38	F				F(学年点9) 39
G			G	G					G
				H					
				I					

手順①+②

A→B→C→D→Eまでは参加チーム数に余裕があるので、「あくつ中学校Eチーム」までの37チームは、最初に参加確定。

手順③ 優先順位1…参加チーム数が最も多い「くぼ中学校」を優先。「くぼ中学校Fチーム」は参加確定。

優先順位2…「はぶ中学校」・「さとう中学校」・「あくつ中学校」は申請チーム数が同じ。
よって、学年点の高い「あくつ中学校Fチーム」は参加確定。

手順④ 「はぶ中学校Fチーム」・「さとう中学校Fチーム」は、学年点も同じ。このため、役員会による抽選によって決定。

○段級位を段級点に変換する表

段級位	四段以上	三段	二段	初段	1～2級	3～4級	5～6級	7～9級	10～12級	13級～初心
段級点	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1